

1991年(平成3年)7月9日

火曜日

西日本新聞

発行所
西日本新聞社
福岡市中央区天神一丁目
4番1号(郵便番号810)
郵便振替口座福岡2-20
©西日本新聞社1991年

日韓サミットなど論議

県議会・一般質問始まる

国立博物館誘致 知事が積極姿勢

六月定例県議会は八日、一般質問が始まり、武藤英治(自民)木野好美(社会)後藤元秀(農政連)高岡新(福岡県民ク)広田誠一(公明)下川忠範(共産)橋詰和元(自民)の七氏が県政全般についてたまたした。こ

れに対し、奥田知事は十月に初めて開く日韓首長サミットで「日韓トンネル構想の受け止め方を聞いてみたい」と述べたほか、国立博物館誘致についても改めて「不退転の決意で臨む」と積極姿勢を示した。

【日韓トンネル】

武藤氏が「十月に相次いで開く北部九州三県知事サミット、韓国南岸地域首長の初の日韓首長サミットとの席で日韓トンネル構想を議題として提案し、両地域の取り組み方法などについて論議してはどうか」と追った。奥田知事は「同構想は夢のある国家レベルの大プロジェクトであり、実現すればアジアのクロスロードを目指す福岡県にとっても飛躍になる。(日韓サミットでは)公式な議論でなく、韓国側の受け止め方などを聞いてみたい」と答弁。さらに「三県知事サミットでも、両県と十分に協議をしながら夢のある構想に対応していきたい」との意向を示した。日韓トンネル構想については、昨年五月に来日した

韓国の盧泰愚大統領が国会演説で、玄界灘を結ぶ海底トンネル構想として触れた経緯がある。